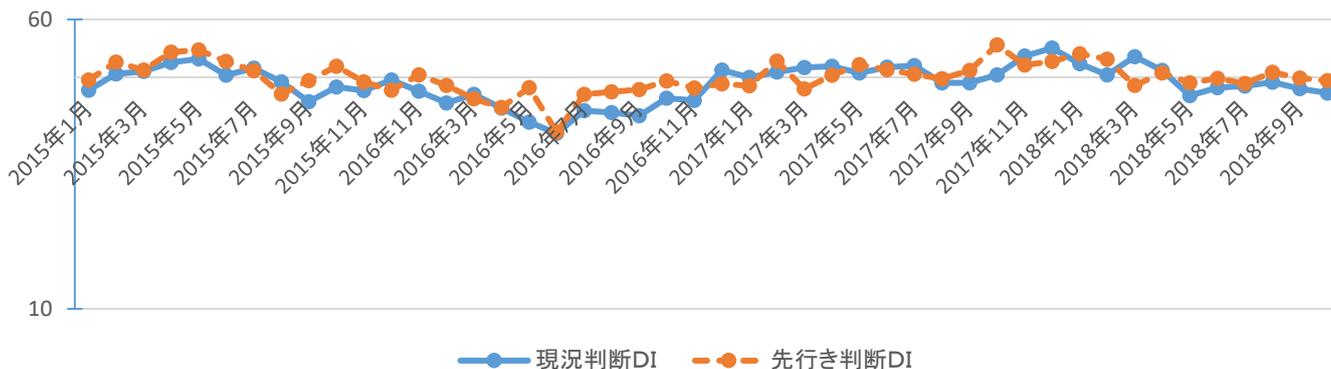


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2018年10月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《お客様の様子》3か月前は暑い時期で、来客数は減少したが、秋になって出歩くことも多くなり来客数も増加した。【美容室（経営者）】
		不変	《お客様の様子》このところの台風や災害の関係で、リフォーム工事、また、細かい仕事での取替え、張り替えや修理工事等が増加している。ただ、これは一過性のものであり、その他住宅や他の物件の新築工事は横ばいである。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	《その他》最低賃金、ガソリンの上昇による、人件費などの経費負担の増加から利益が減少してきている。【その他サービス【介護サービス】（職員）】
	企業動向関連	やや良	《受注量や販売量の動き》やりきれないと思われるほどの受注の引き合いが続いている。原材料高コスト圧迫要因はあるが、仕事が多いのは良い傾向である。【金属製品製造業（従業員）】
		不変	《受注価格や販売価格の動き》原材料価格の高騰により収益が圧迫されている。消費動向も芳しくなく、新商品の発売についても前年のような勢いが無い。【食品製造業（経営企画担当）】
		やや悪	《その他》中国の生産制限政策により、ほぼ全ての原料が値上がりしており、国内生産の原料も便乗値上げになっている。しかし、製品価格の値上げはなかなか認められず、利幅縮小で厳しい状況にある。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用関連	やや良	《求人数の動き》下期に差し掛かって、引き続き大手企業から中小企業まで幅広い求人ニーズが、地方も含めて発生している状況である。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	《求人数の動き》前年同月と比べ、産業全体の求人数は微増ながら、このうち正社員求人数をみると微減となっている。人手不足感が依然として強まっているが、企業の中途正社員採用に対する姿勢は慎重である。【職業安定所（所長）】
		やや悪	《求人数の動き》法人関係の利用が少なく、例年に比べても少なかった。【人材派遣会社（社員）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	たばこの値上げがあったにもかかわらず、来客数の前年比での改善傾向から、重点管理商品群の継続改善と戦略的に実施しているちゅう房商品が大きく貢献する傾向にある。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	将来的な安定がみえてこない限り、消費が爆発的に上向くとは思えない。【その他飲食【仕出し】（経営者）】
		やや悪	自然災害が落ち着いてきており良い傾向であるが、それにしても世の中に活気がない。活気がないということは年末にかけて余り良くない。【乗用車販売店（従業員）】
	企業動向関連	やや良	これから年末に向けて金を使う機会が増えてくる。今月よりは良くなる。【輸送用機械器具製造業（品質管理担当）】
		不変	特段悪くなる要因がない。米中の関税合戦は株価を揺るがしているが、中期的には互いの不利益を回避していくものと推察する。【化学工業（総務秘書）】
		やや悪	燃料費を始め経費のアップが影響し始めている。営業車両をディーゼルからガソリン、又はハイブリッド車へ移行しつつもガソリン価格の急騰は影響が大きい。【会計事務所（職員）】
	雇用関連	やや良	求職側の活動意欲が高まる時期であり、最大商戦期の2～3月を目指し、ボーナス支給後を見越して事前に情報収集に動く人が増える時期である。【民間職業紹介機関（営業担当）】
		不変	新規求人数は高水準で推移しており、景気の高まりを感じるが、中小零細企業においては、原材料や運搬費の高騰が収益を圧迫、人手不足により受注制限が生じているとの声を聞く。【職業安定所（次長）】
やや悪		年末に向けて求人数が減少し、求職者の動きも鈍くなる。【人材派遣会社（社員）】	